

令和4年9月28日
中央区地域包括ケアシステム推進会議

資料 5

「高齡者の保健事業と介護予防の一体的実施について
～ 熊本県後期高齡者医療費分析等から見える健康課題～」

熊本市国保年金課

1 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

* 「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」

2019.5.22 公布

- 高齢者の有病率は高く、疾病予防だけでなく**生活習慣病等の重症化の予防**が大事
- また、生活機能の急速な低下を防ぐため介護予防・**フレイル（虚弱）予防**にも重点的に取り組む
- しかし、介護予防・フレイル対策と生活習慣病対策の実施主体が分かれており、高齢者の多様な課題に包括的に対応できていない現状
- これまで個々に管理していた健康・医療・介護データ等を一元化・集積し、効果的な分析・事業の企画・評価を実施し課題解決に向けた連携が必要

本市においても 健康寿命を延伸するため**生活習慣病等の疾病予防・重症化予防とフレイル対策等の介護予防とを一体的に実施することで、切れ目のない効果的な支援対策を展開することが必要**

地域ぐるみで介護・フレイル予防を一体的に実施

健康寿命の延伸

介護事業

保健事業

高齢福祉課

介護保険課

熊本市

健康づくり推進課

国保年金課

包括支援センター

連携

通いの場の支援

日常生活圏域

くまもと元気クラブ
高齢者サロン

地域担当医療
専門職の派遣

連携

連携

相談

- ・必要なサービスや制度を紹介
- ・介護予防ケアマネジメント

参加

通いの場

フレイルチェック
保健指導

一体的に実施

後期高齢者医療
広域連合

受診

かかりつけ医
医師会 等

通いの場への参加勧奨

- ・保健指導・受診勧奨
- ・通いの場への参加勧奨

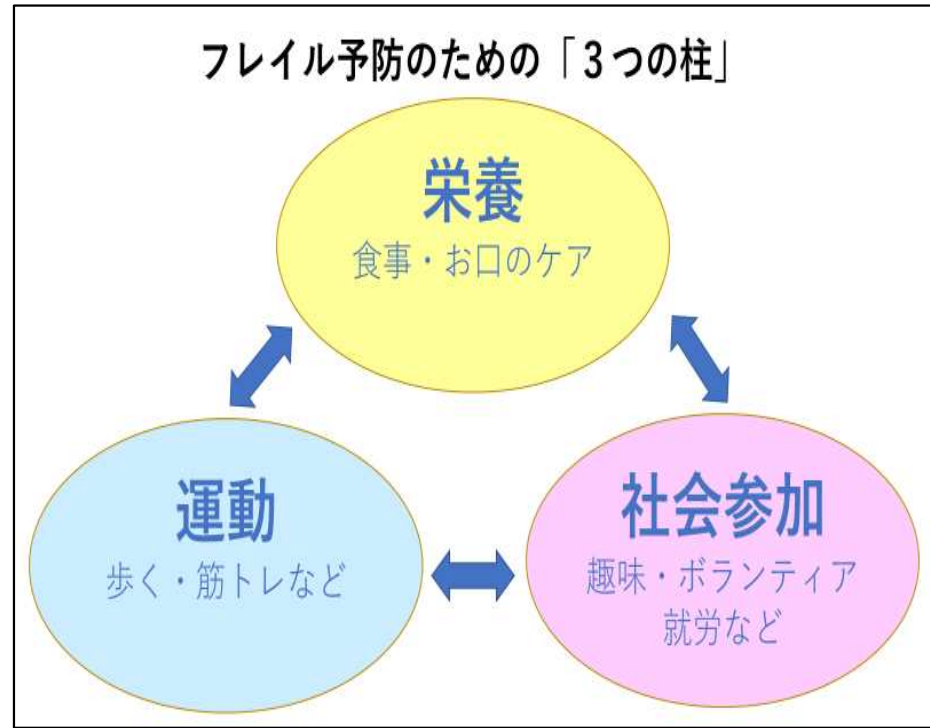
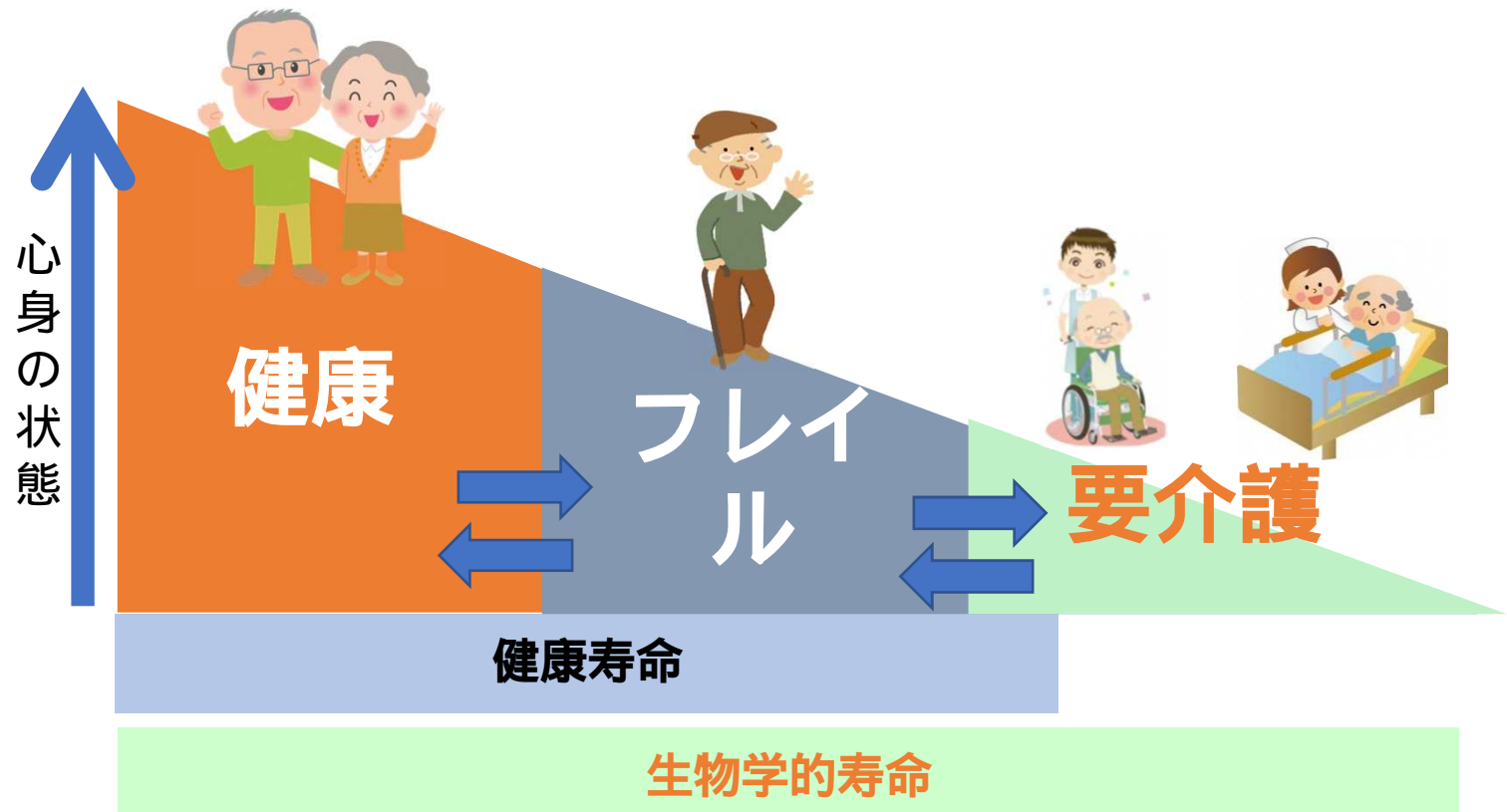
地域の高齢者

2 フレイルとは

フレイルとは?! 虚弱 (Frailty)

加齢により心身の機能が低下し、健康な状態から要介護状態へと移行する中間の段階のことで、適切な介入・支援により、生活機能の維持・向上が可能。

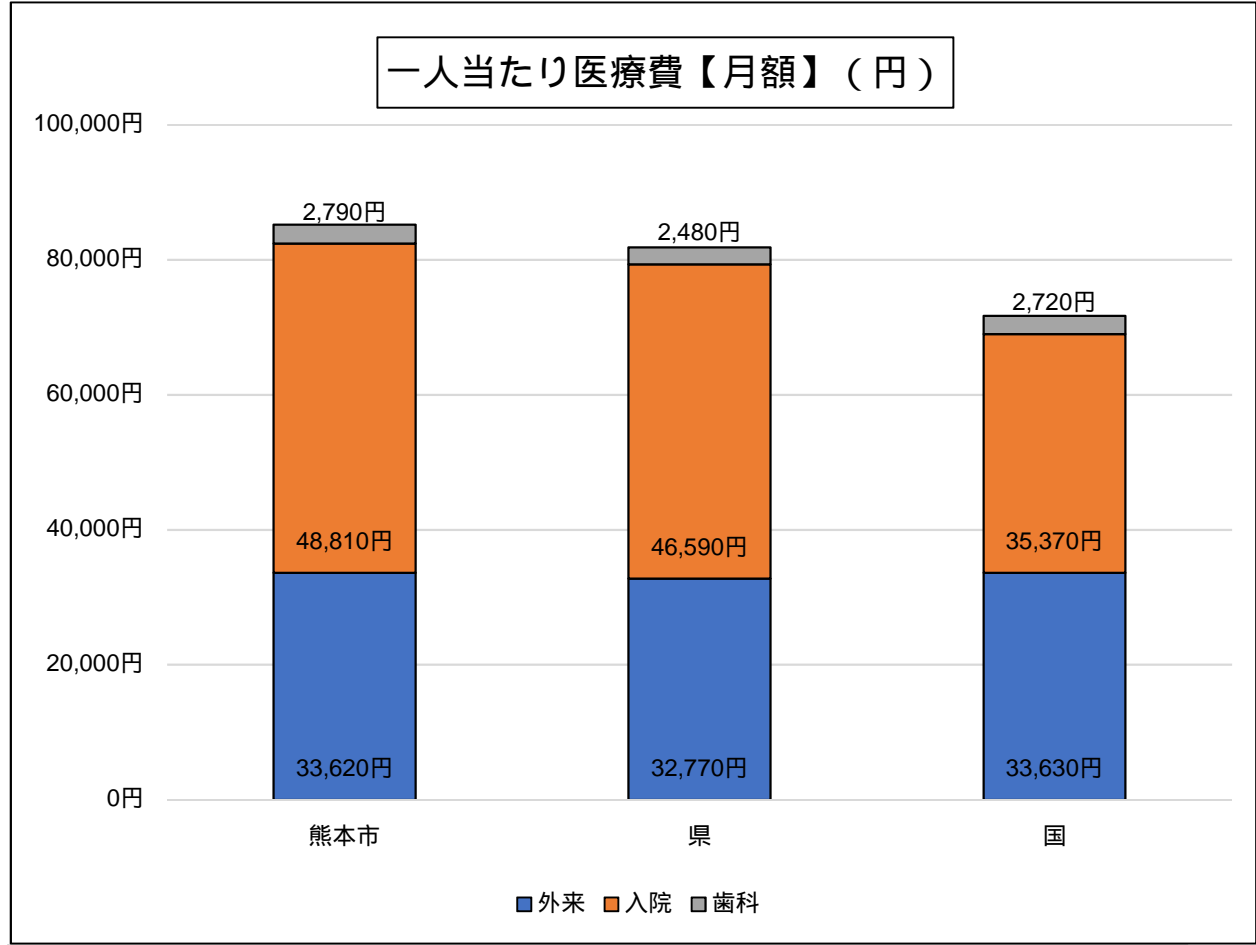
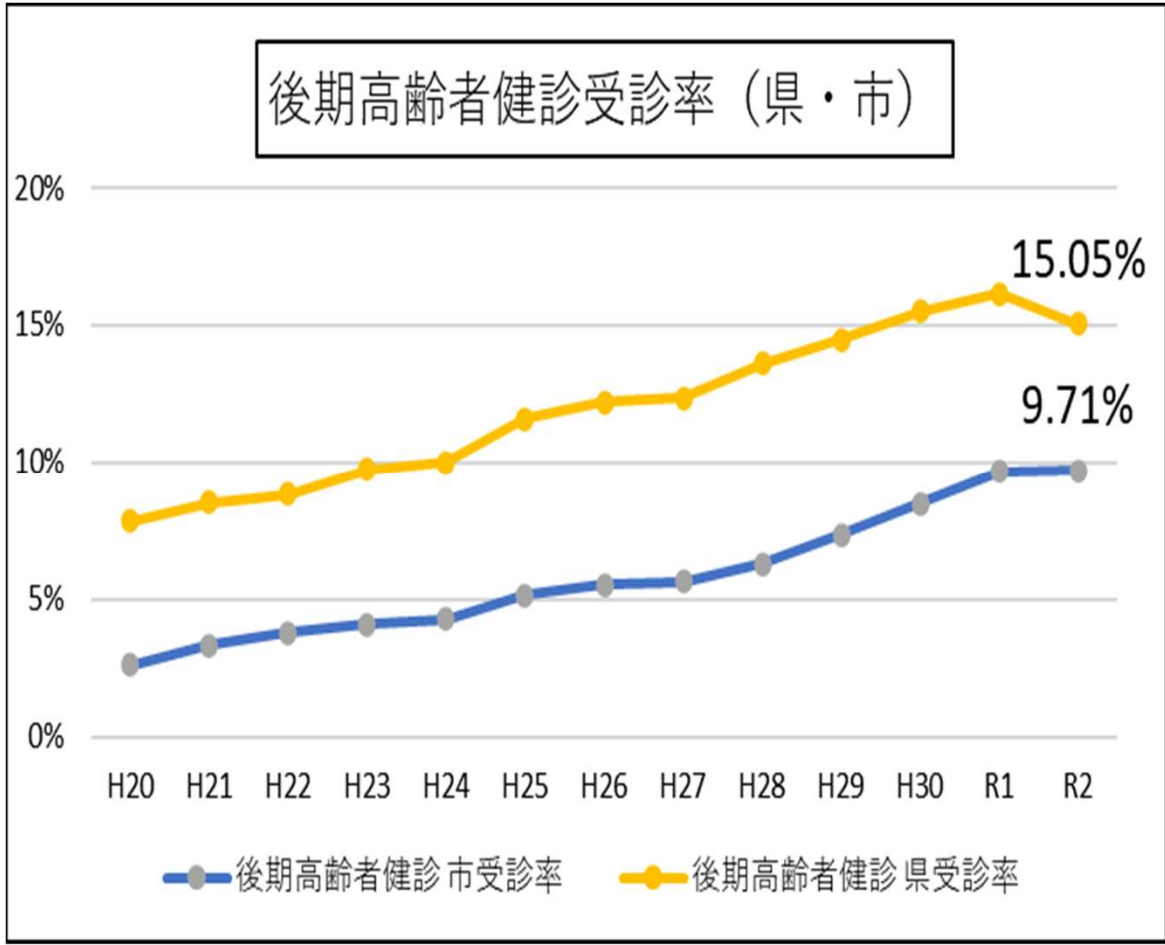
健康と要介護の中間 可逆性 (元の機能に戻せる) 多面性 (様々な側面)



出典：葛谷雅文 日老医誌 46：279-285,2009より引用改編 東京大学高齢社会総合研究機構 飯島勝矢作成より引用改編

3 熊本市の高齢者の現状 ~ 健診関連のデータより ~

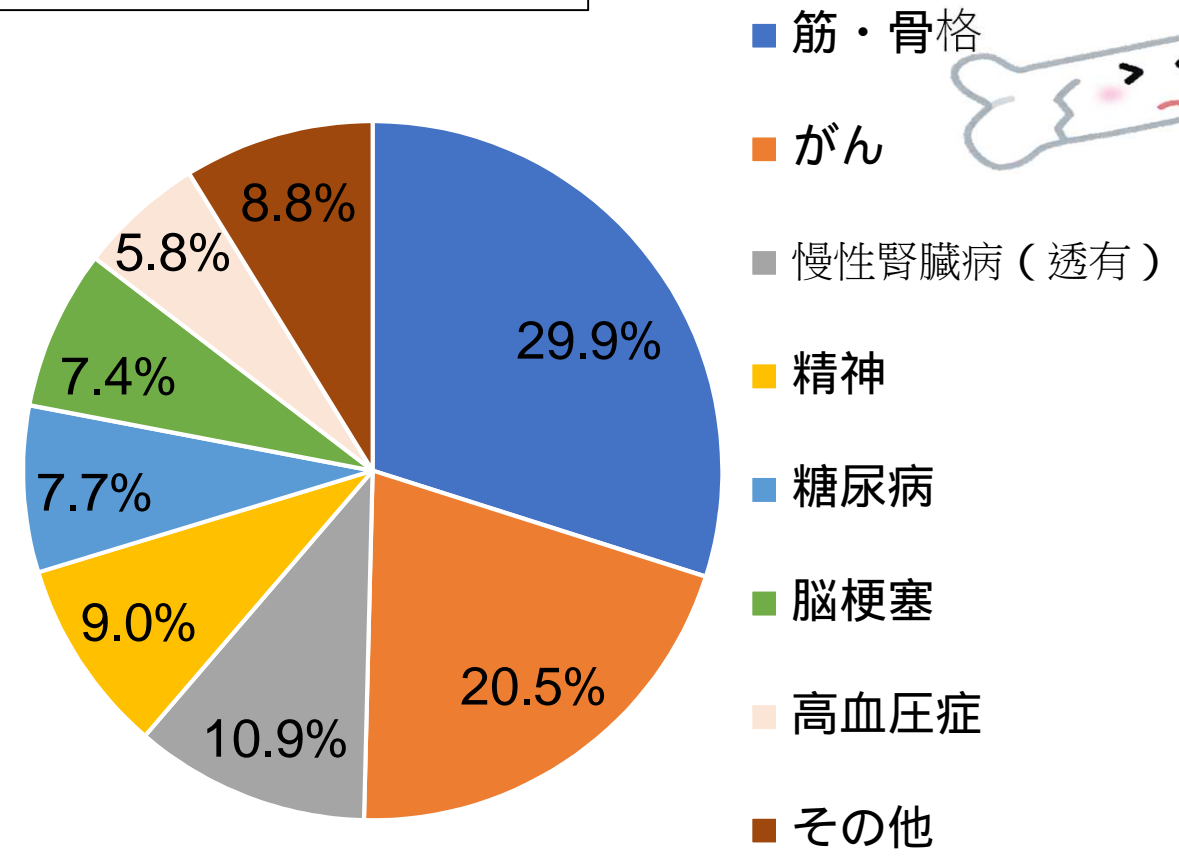
- ・後期高齢者健診の受診率は県と比較して低い。
- ・一人あたりの医療費は国や県と比較して高い。



3 熊本市の高齢者の現状 ~ 医療費関連のデータより ~

後期高齢者医療費では**筋骨格系**の疾患に係る医療費の割合が高く、傷病別では**骨折**が1位である。

医療費分析（最大医療資源傷病名）



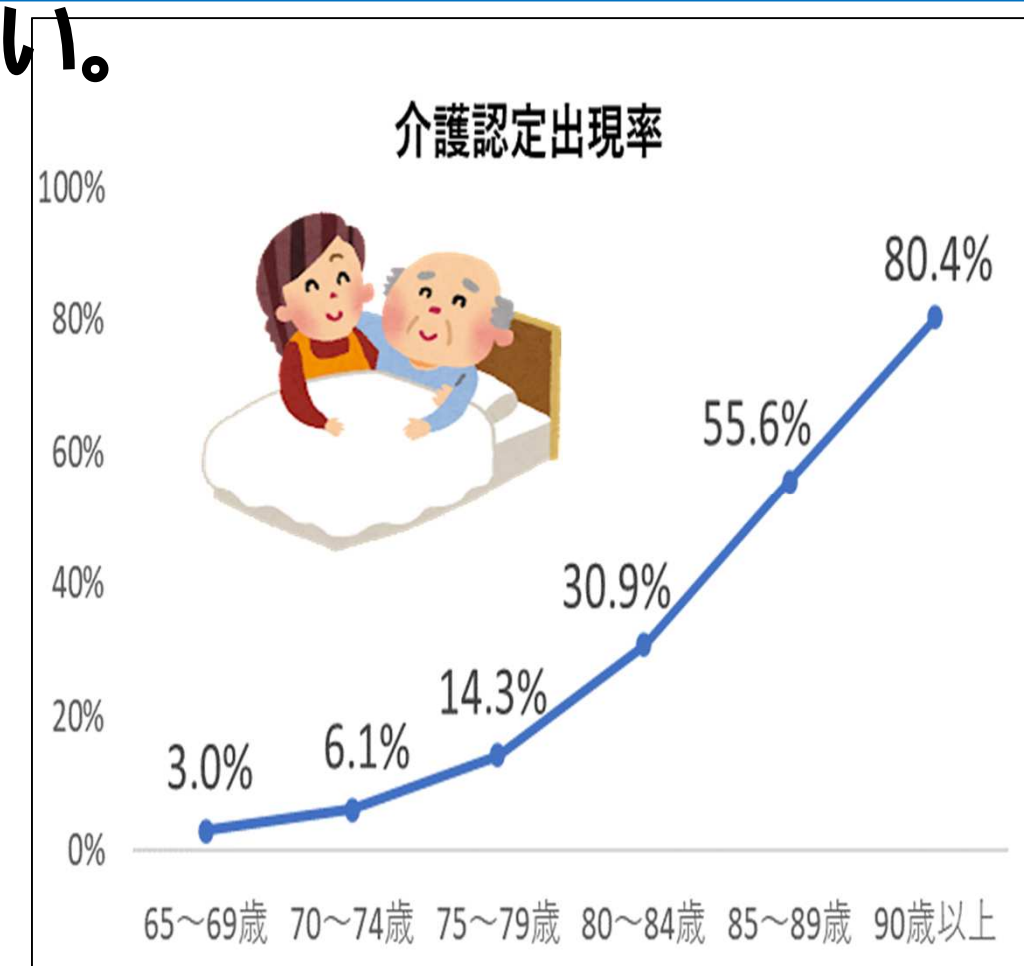
医療費分析（傷病別）

順位	傷病名
第1位	骨折
第2位	慢性腎臓病（透析あり）
第3位	関節疾患
第4位	糖尿病
第5位	脳梗塞
第6位	不整脈
第7位	高血圧症
第8位	骨粗しょう症
第9位	パーキンソン病
第10位	肺がん

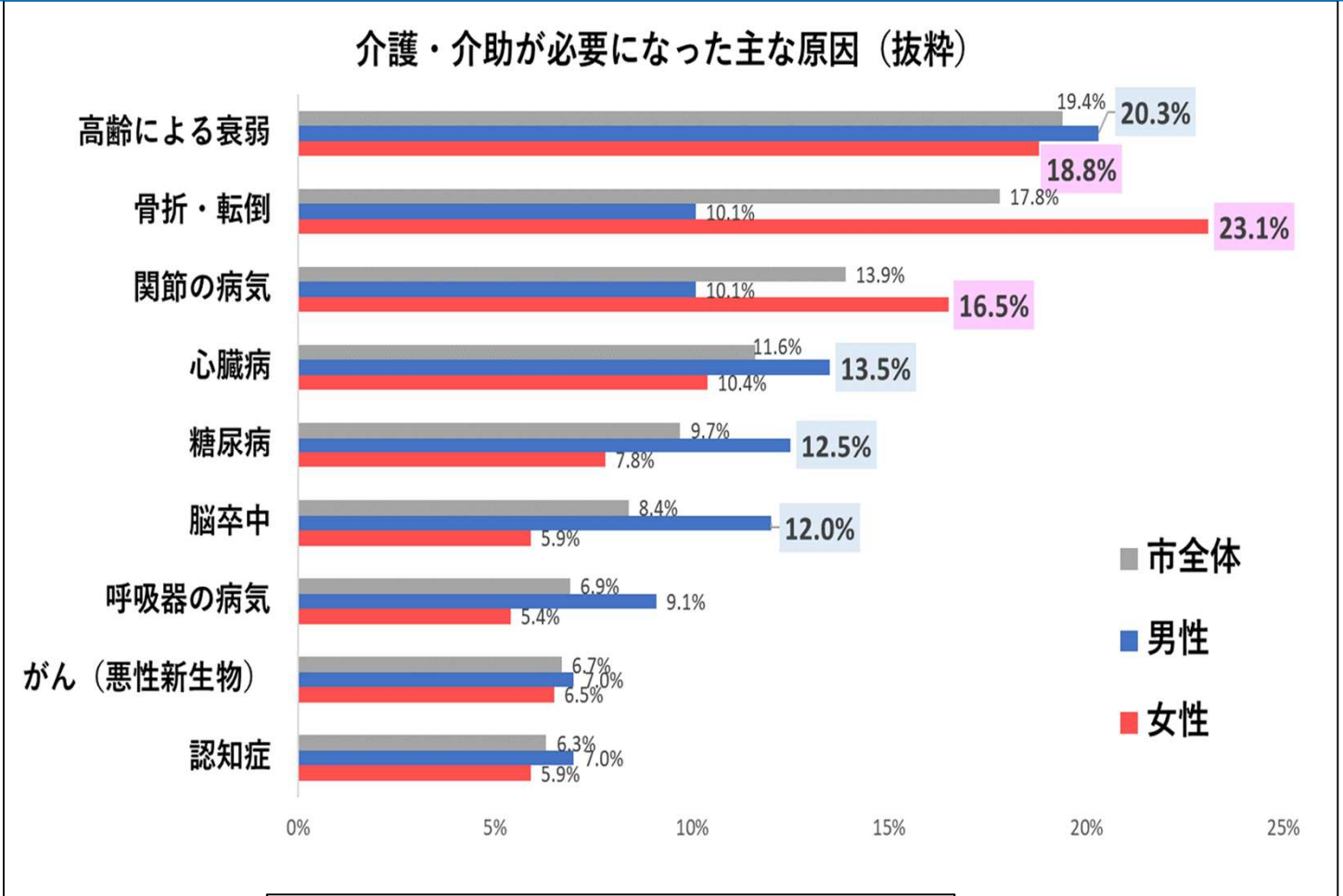
KDB 地域全体の把握 令和2年度累計より作成

3 熊本市の高齢者の現状 ~ 介護関連データより ~

- ・ 介護認定率は高齢になるほど割合が高くなる。
- ・ 要介護の要因として男女ともに、**高齢による虚弱（フレイル）**
男性は 心臓病、脳卒中 **女性は骨折や関節の病気が多**



出典：介護保険事業状況報告書（R2年9月末現在）、熊本市人口統計表



熊本市介護予防・日常生活圏域二一ズ調査より

後期高齢者健診・歯科口腔健診

【後期高齢者健診】

（検査項目）

- ・ **問診** ・ 身体診察 ・ 身体測定 ・ 血圧測定
- ・ 血中脂質検査 ・ 肝機能検査 ・ 血糖検査 ・ 尿検査
- ・ 生化学検査 ・ **貧血検査**

心電図検査、眼底検査は医師の判断で追加



【歯科口腔健診】

（検査項目）

- ・ 問診
- ・ 歯周検査（むし歯や歯周病、噛む機能の検査）
- ・ 口腔内検査（口の中の衛生状況や飲み込む機能の検査）



4 熊本県令和2年度後期高齢者健診結果分析より

後期高齢者健診問診票について

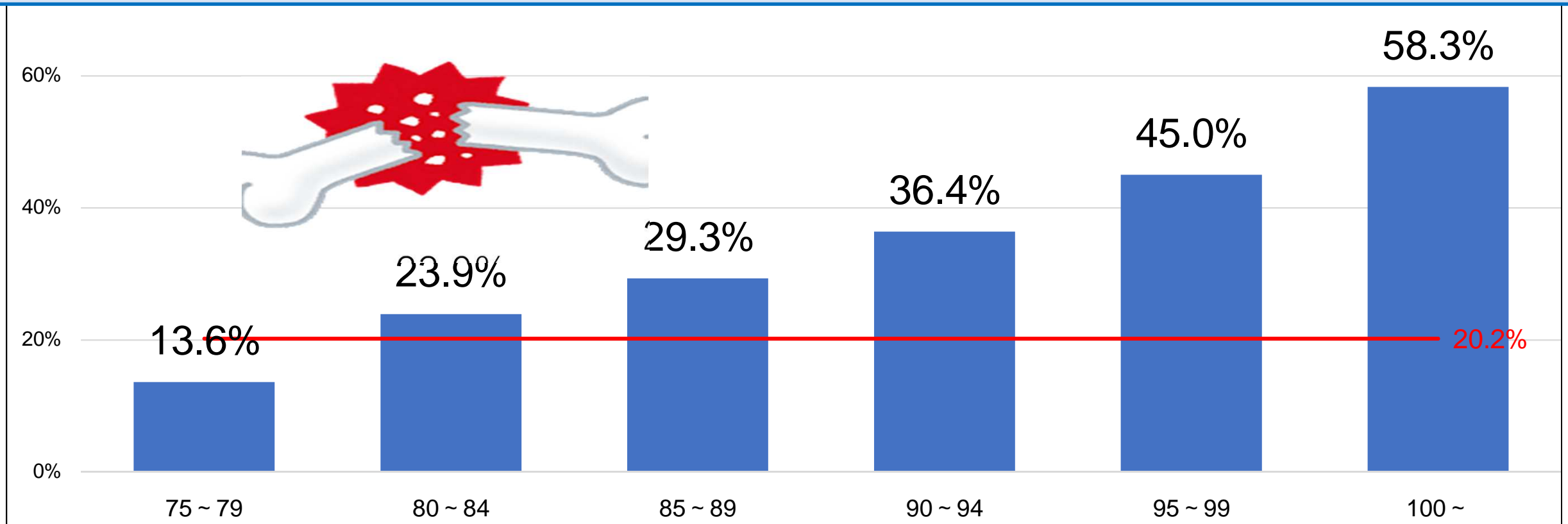
健康状態	1	現在の健康状態	運動・転倒	9	運動を週に1回以上していますか
	2	毎日の生活に満足しているか		認知	10
栄養・口腔	3	1日3食きちんと食べていますか			11
	4	固いものが食べにくい		12	あなたはたばこを吸いますか
	5	お茶や汁もの等でむせる	社会参加 ・コミュ ニティー	13	週1回以上は外出していますか
	6	6か月間で2~3kg以上の体重減少		14	家族や友人と付き合いがありますか
運動・転倒	7	歩く速度が遅くなってきた		15	相談できる人がいますか
	8	この1年間に転んだか			

4 熊本県後期広域連合「令和2年度後期高齢者健診結果分析より」

調査について

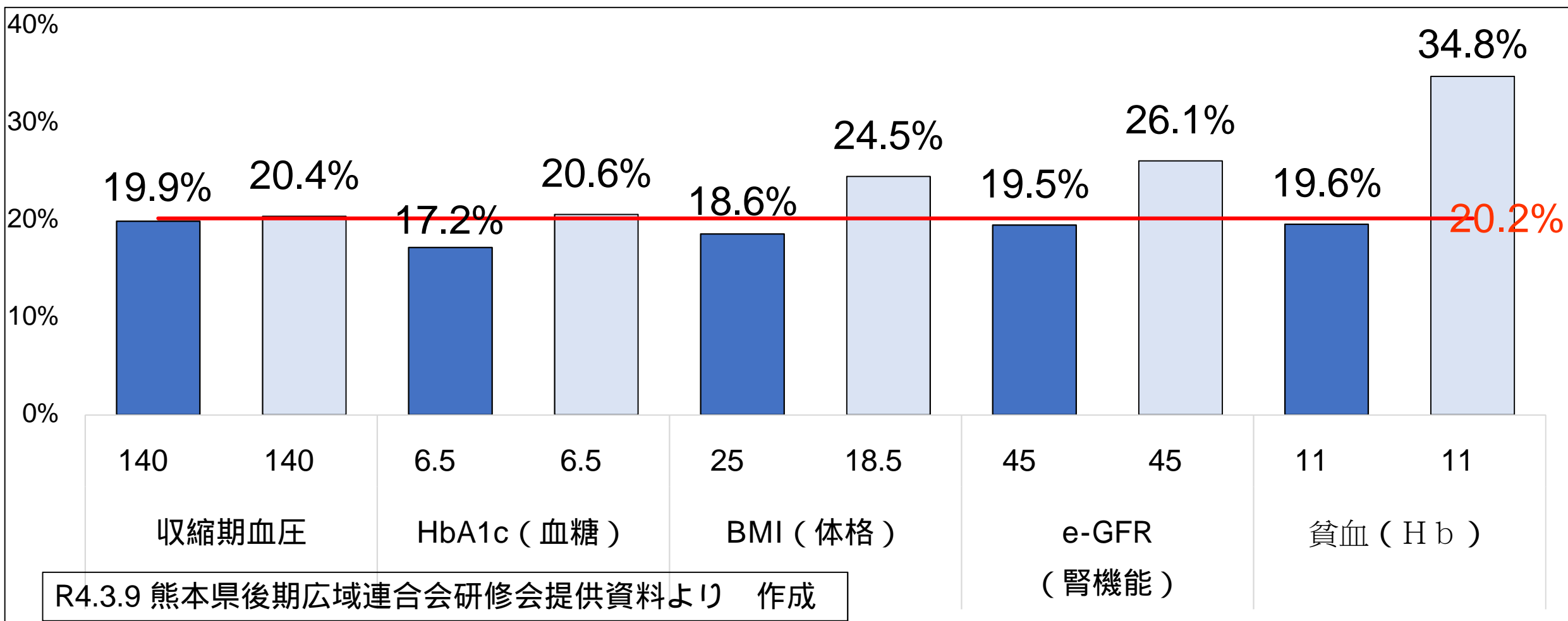
- ・ 令和2年度熊本県後期高齢者健診受診した75歳以上（39,657人）
- ・ 健診受けたもので過去の5年間の骨折レセプトデータも併せて調査

・ 年齢が高くなるほど「骨折率」が上がる



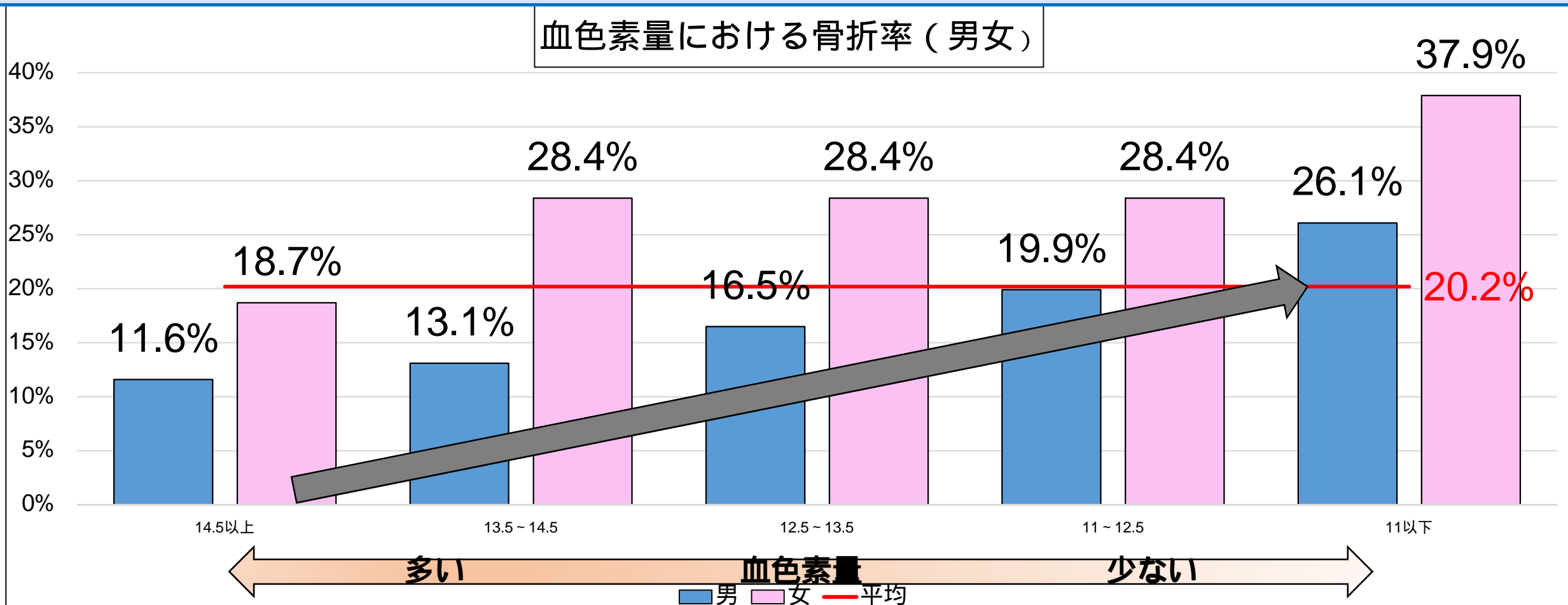
4 熊本県令和2年度後期高齢者健診結果分析より

- ・ 健診で**貧血**や**腎機能低下**に該当したものが骨折の発生率が高い
- ・ 健診結果で肥満より**やせ**に該当したものが骨折の発生率が高い



4 熊本県令和2年度後期高齢者健診結果分析より

- **女性の方が骨折率は高い**
- **血色素量が少ない（貧血）ほど、骨折率が高くなる**



4 熊本県令和2年度後期高齢者健診結果分析より

問診表項目に該当し、かつ貧血があるものは骨折率が高い

(健康状態 + 運動) (栄養・口腔 + 運動)

(運動 + 社会参加) (運動 + 認知)

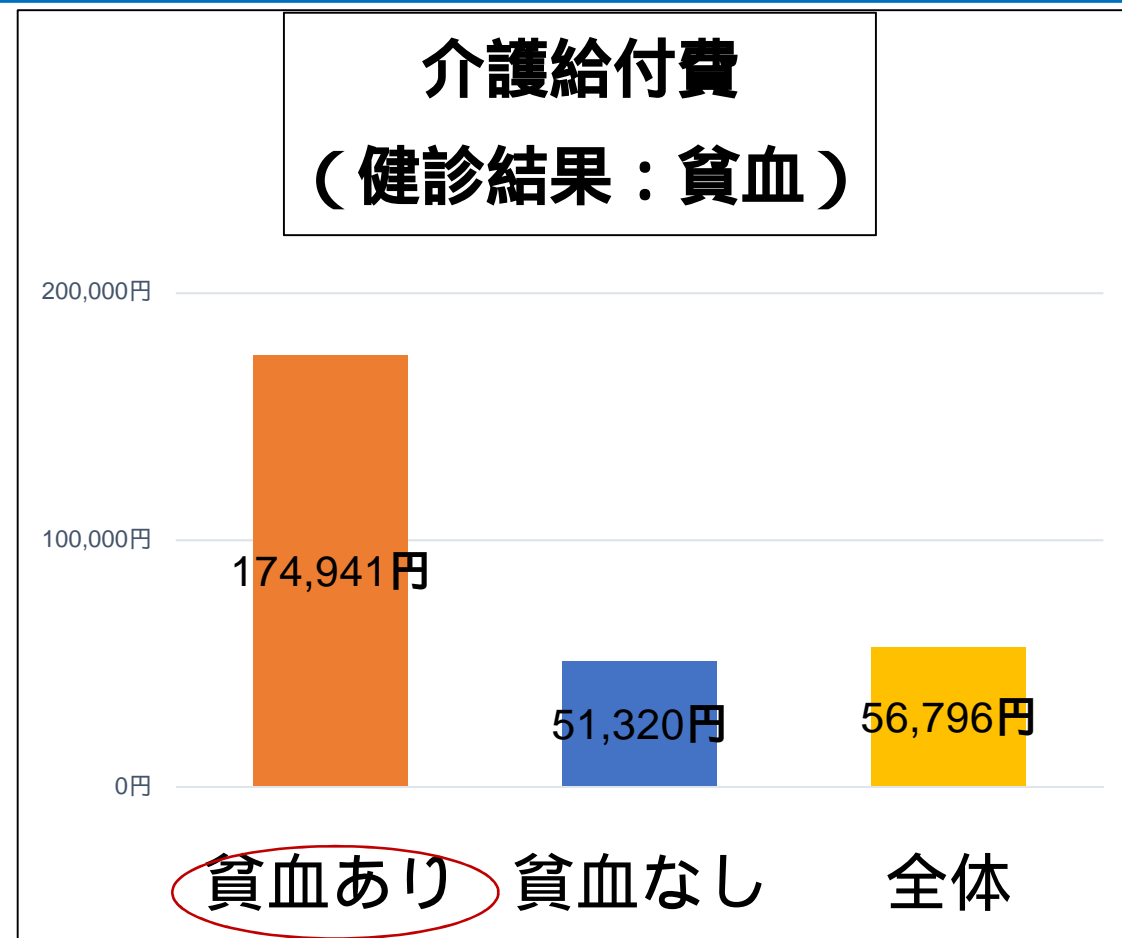
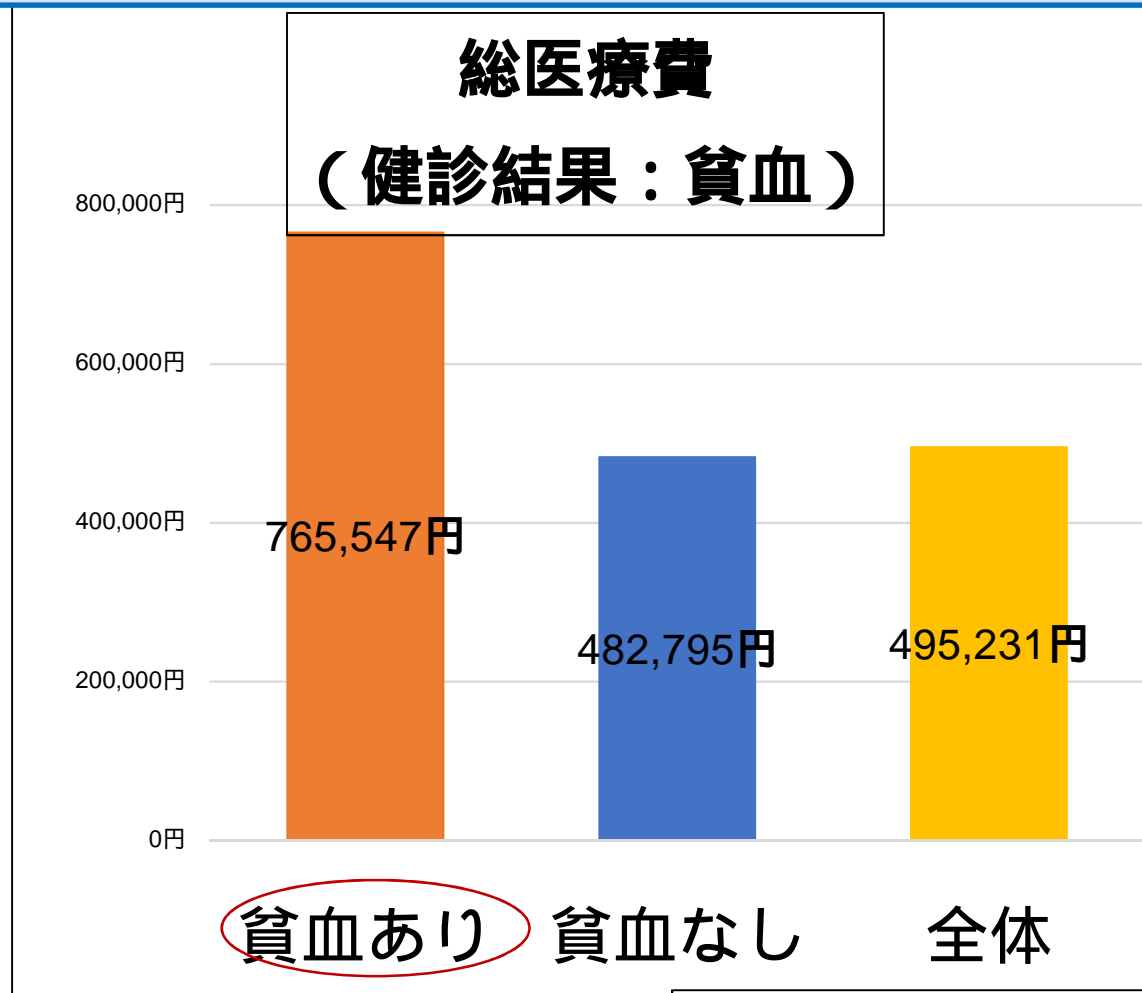
健康状態	×	-	-	-
栄養・口腔	-	×	-	-
運動	×	×	×	×
認知	-	-	-	×
社会参加	-	-	×	-
貧血	あり	あり	あり	あり
骨折率	2.7倍	2.6倍	2.3倍	2.7倍

問診項目

検査項目

4 熊本県令和2年度後期高齢者健診結果分析より

・健診結果より**貧血のある人は、医療費も介護給付費も貧血のない人より高い。**



5 まとめ

- ・高齡者の医療や介護に**生活習慣病**や**骨折**が大きくかかわっている。
- ・**骨折**については特に**貧血**との関連性がある。
- ・「元気で長生き」には**フレイル予防**が必要。
- ・後期高齡者健診、歯科口腔健診を受診し、フレイル状態を把握する。
- ・フレイル予防のために保健事業と介護予防の取組の連携が必要。



地域包括ケアシステム推進のための区の目標を達成するために、「高齡者の保健事業と介護予防の一体的実施」の動きと連動して取り組んでいくことはとても重要となる。